

工業高等専門学校(松江高専)と合同で行われました。松江高専の活気溢れる単独演奏に始まった第一部に続き、呉音楽隊の演奏による第二部、そして第三部は合



編成による演奏で、単独演奏とは違うダイナミックなサウンドでコンサートは終演しました。私は、昨年四月に呉教育隊に入隊し、約五か月間の教育期間を経て、呉音



生初のエレクトリックベースの演奏となりました。同じ弦楽器ではありませんが、コントラバスと違う点が多く、練習し始めはまったく別の楽器を弾いている感覚でした。楽器の大きさは格段に小さくなるため、

気持ちも日に日に前向きになり、演奏会では楽しく演奏することができました。そして、お客様を笑顔にすることができたと自負しております。この経験は、演奏家としての私の自信となりました。これからも、演奏

近代艦へ芽吹き

掃海艦艇、特務艦も多彩に

三次防は昭和四十二年、四十六年です。世相として小笠原諸島の復帰、川端康成のノーベル文学賞、佐藤・ニクソン会談、核拡散防止条約調印、大阪万国博覧会、円の為替相場を変動相場制に移行など。国外ではEC発足、アポロ11号の月面着陸、中華人民共和国が国連に入り台湾(中華民国)を追放等です。

「はるな」は現在に至るD日Hの第一艦で、私などはついに戦艦「榛名」の再来と歓喜しました。四七〇〇、全長百五十三、対潜ヘリコプター三機搭載は素晴らしい魅力でした。昭和四十八年二月竣工、長そ

の任を終え平成二十一年三月除籍。同じDDHでも「うずしお」型は涙滴型で、今までの潜水艦とは一線を画し、一八五〇は海上自衛隊最大です。三番艦「いそしお」は昭和四十七年竣工でしたが、十七年目の平成元年三月特務艦(A TSS-800)になり、平成四年三月除籍。後には「あつみ」型(一四八〇、一五五〇)はおなじみ半島名で、「もとぶ」、「ねむろ」が続き、後に「みうら」型(二〇〇〇)三隻が続きます。ちなみに今の「おおすみ」型は八九〇〇もありましたが、新しさもあるのですが、本当にピピビ

「たかみ」型は「かさご」型を受けて全十九隻が建造されました。瀬戸内の「高見島」の名をもらい三八〇、全長五十二、乗員四十五名でした。

「あつみ」型(一四八〇、一五五〇)はおなじみ半島名で、「もとぶ」、「ねむろ」が続き、後に「みうら」型(二〇〇〇)三隻が続きます。ちなみに今の「おおすみ」型は八九〇〇もありましたが、新しさもあるのですが、本当にピピビ

「あつみ」型(一四八〇、一五五〇)はおなじみ半島名で、「もとぶ」、「ねむろ」が続き、後に「みうら」型(二〇〇〇)三隻が続きます。ちなみに今の「おおすみ」型は八九〇〇もありましたが、新しさもあるのですが、本当にピピビ

「あつみ」型(一四八〇、一五五〇)はおなじみ半島名で、「もとぶ」、「ねむろ」が続き、後に「みうら」型(二〇〇〇)三隻が続きます。ちなみに今の「おおすみ」型は八九〇〇もありましたが、新しさもあるのですが、本当にピピビ

「あつみ」型(一四八〇、一五五〇)はおなじみ半島名で、「もとぶ」、「ねむろ」が続き、後に「みうら」型(二〇〇〇)三隻が続きます。ちなみに今の「おおすみ」型は八九〇〇もありましたが、新しさもあるのですが、本当にピピビ

幹候一八期生会(略称とわ会、石川亭会長)は、昨秋十一月十六、十七の両日、呉監・一術校・候校・「おおすみ」等の協力を得て入校五十周年のクラス会を呉・江田島で実施した。十年前の四十周年に倣い記念総会と「江田島再々訪の旅」を計画し、夫人を含めて六十一人が参加した。

十六日(木)午後、参加者は三々五々入りし、オプショナル・ツアー(艦艇見学)希望者は、齋藤艦長自らの案内により修理直後回航されたばかりの輸送艦「おおすみ」を見学した。ほとんどの者が平成十一年

に就役した同艦をつぶさに見学するのは初めてで、エアクッション艇(LCAC)をはじめとする近代化装備とその多様な任務について理解を深めた。

夕刻、創業百十六年を誇る全国唯一の海軍料亭「五月荘」で総会・懇親会を開催した。来賓として池田総監をお迎えして「メイ」大広間で行われた懇親会は、久闊を叙すクラスメートで

まれば、午前中希望者はオプショナル・ツアー(てつのかしら館・大和ミュージアム見学)に参加し、今や呉市の人気観光スポットで海軍・海自の栄光と苦難の歴史の跡を偲んだ。

艦艇は少なかったものの、「おおすみ」等の艦艇と棧橋の大型・大規模化には隔世の感があった。

十一時四十五分、一行は中畑一術校・齋藤候校両校長の出迎えを受け、古鷹山

急ぐ者や近くの観光名所でゆつくりする者など様々だったが、皆体調不良を訴えることもなく「姿勢・言語・記憶・動悸・不通」の老人五省を嘆みしめながら晩秋の江田島を後にした。

入校50周年機に

幹候18期 江田島再々訪の旅

十時四十五分、参加者は高速度観光船「くれなゐ2号」に乗り呉中央棧橋を

下白砂青松・赤煉瓦の佇まいの「江田島」に、各自万感の思いをもって上陸。江田島クラブで実施した昼食

会では、両校長から歓迎のご挨拶をいただき、訪問記念としてとわ会から「桜基

大いに盛り上がり、夜戦(二次会)にも多くの者が老齢船舶を駆って出撃、呉の街も賑わった。(戦果不明)

翌十七日は低気温ながら小春日和という天佑にも恵

約四時間半に及ぶ江田島訪問だったが、半世紀前と同じ静謐な佇まいの中各自思い思いに「理不尽」な一年間を懐かしく回顧することが出来た。解散後家路を

予定だ。(山田道雄記)

「たかみ」型は「かさご」型を受けて全十九隻が建造されました。瀬戸内の「高見島」の名をもらい三八〇、全長五十二、乗員四十五名でした。

「あつみ」型(一四八〇、一五五〇)はおなじみ半島名で、「もとぶ」、「ねむろ」が続き、後に「みうら」型(二〇〇〇)三隻が続きます。ちなみに今の「おおすみ」型は八九〇〇もありましたが、新しさもあるのですが、本当にピピビ

「あつみ」型(一四八〇、一五五〇)はおなじみ半島名で、「もとぶ」、「ねむろ」が続き、後に「みうら」型(二〇〇〇)三隻が続きます。ちなみに今の「おおすみ」型は八九〇〇もありましたが、新しさもあるのですが、本当にピピビ

「あつみ」型(一四八〇、一五五〇)はおなじみ半島名で、「もとぶ」、「ねむろ」が続き、後に「みうら」型(二〇〇〇)三隻が続きます。ちなみに今の「おおすみ」型は八九〇〇もありましたが、新しさもあるのですが、本当にピピビ

